

平成30年 3月

# 渡邊仁美 学位論文審査要旨

主 査 深 田 美 香  
副主査 南 前 恵 子  
同 萩 野 浩

## 主論文

Core values in nursing care based on the experiences of nurses engaged in neonatal nursing: A text-mining approach for analyzing reflection records

(新生児看護に従事する看護師の経験から導き出された看護の中心的価値：テキストマイニングによるリフレクション記録分析)

(著者：渡邊仁美、奥田玲子、萩野浩)

平成30年 Yonago Acta Medica 掲載予定

## 参考論文

### 1. 患者・家族が満足できる看護師のケア行為

(著者：渡邊仁美、藤井春美、瀧田千恵美、石賀奈津子、足立佳子、奥野梨沙、萩野浩)

平成29年 看護実践の科学 第42巻 58頁～64頁

## 審査結果の要旨

本研究は看護師が自らの看護経験を記述したリフレクションシートを基に、研究者が面談を行い、新生児看護経験5年以上および5年未満での看護の中心的価値の特徴をテキストマイニングにより明らかにしたものである。その結果、新生児看護の中心的価値は家族支援であった。経験5年以上の看護師は、患者家族との相互的な関係の中で対象者を認識していたが、5年未満の看護師は対象者に対する一方向性のケアのみを認識していた。臨床経験5年以上は、臨床での経験と演繹的推論が一致する時期であり、自身の看護の概念化に基づき看護が実践できる時期と考えられた。リフレクションによる自身の看護の中心的価値の語りは、看護の概念化の具現化につながる。本研究は臨床現場における看護師の専門性発達過程を新しい解析手法で初めて示し、明らかに学術水準を高めたものと認める。